



ニューヨーク市観光会議局のプログラム「NYC レストラン・ウィーク サマー2025」の予約受付スタート

今年は7月21日から8月17日まで開催、ニューヨーク市の5つの行政区全域から約600軒のレストランが参加

公式サイト nyctourism.com/restaurantweek にて予約受付中

世界初のレストラン・ウィークである「NYC レストラン・ウィーク」が、ニューヨーク市400年の歴史を祝う「Founded By NYC」イニシアチブの一環として開催

ニューヨーク市における5つの行政区の公式ツーリズム・マーケティング機関である、ニューヨーク市観光会議局（正式英語名称 New York City Tourism + Conventions）は、「NYC レストラン・ウィーク® サマー2025」の予約受付を公式サイト nyctourism.com/restaurantweek にて開始したことを発表しました。開催期間は2025年7月21日（月）から8月17日（日）までです。

年に2回開催されるこの人気プログラムで、今年は5つの行政区全域の70以上のエリア（ネイバーフッド）から約600軒のレストランが参加。50種類以上の多彩な料理ジャンルをお得に楽しめる絶好の機会です。各レストランでは、人気の定番メニューや新作を取り入れた2コースのランチ、または3コースのディナーをプリフィックス（定額）スタイルで提供。料金は\$30、\$45、\$60の3種類で、店舗ごとに異なります（税・チップは別途）。土曜日は対象外で、日曜日の提供は店舗により異なります。

ニューヨーク市観光会議局プレジデント兼 CEO のジュリー・コーカーは「ニューヨーク市発祥の伝統である『NYC レストラン・ウィーク』を今年も開催できることを大変うれしく思います。市内5行政区の約600軒ものレストランが参加し、地元ニューヨーカーも観光客も、ニューヨーク市の多様な食文化を味わっていただける絶好の機会です。街に馴染み愛される名店から世界的に有名なレストランまで、ニューヨーク市のダイニング体験がいかに特別であるかを思い出させてくれるプログラムです。夏のひと時に新たなお気に入りの一軒を見つける楽しさ、そこにあふれる味わいと文化—それらすべてを、驚くほどお得に楽しめるのです。今年は、メモリアル・デー（5/26 戦没者祈念日）からレイバー・デー（9/1 勤労感謝の日）までの期間に、約1,770万人の旅行者が見込まれるなか、『NYC レストラン・ウィーク』は、ニューヨーク市を訪れる旅行者にとって、ニューヨークの食の魅力を体験し、同時に地元ビジネスを応援できる絶好のチャンスとなるでしょう」とコメントを寄せています。

また、ニューヨーク市のエリック・アダムス市長は「リバーデイルのタパスからニュー・ドープのサモサまで、ニューヨーク市の食文化はあらゆる料理、食材、そして文化を映し出しています。その豊かな多様性を祝うのに、『NYC レストラン・ウィーク』ほどふさわしい機会はありません。レストランはこの街にとって不可欠な存在で、30万人以上の市民が飲食業に従事しており、食を通じて人と人がつながる場となっています。『NYC レストラン・ウィーク』期間中の特別価格の提供は、この街をもっと身近に感じて、手の届くものにする取り組みの一つでもあります。地元ニューヨーカーも観光客も、この機会に街のレストランを巡り、その魅力を楽しみ、この街の活気を支えている人々を応援していただければと思います」と述べています。

CONTACT:
SHENELL RENWICK
T +1 212 484 1270
SRENWICK@NYCTOURISM.COM

NEW YORK CITY
TOURISM + CONVENTIONS

@NYCTOURISMNEWS
NYCTOURISM.COM

参加レストランは「料理ジャンル（cuisine）」、「行政区（borough）」、「エリア（neighborhood）」、「バリアフリー対応（accessibility）」、「食事の種類（meal type）」、「参

FOR IMMEDIATE RELEASE

加週（weeks participating）」、「メニュー有り（has menu）」など、さまざまな条件項目を選び検索可能です。また、ニューヨーク市制 400 周年を記念し、新たに「Founded By NYC」項目も登場。これは、特別メニューやドリンクを提供するレストランを見つけやすくするもので、その内容は各店自慢の名物メニューや、ニューヨーク市発祥の料理、あるいは建市年の“1625 年”にちなんだ\$16.25 の特別メニューなど、多彩なアプローチで構成されています。

また、興味やテーマに合わせてレストランを選びたい方のために、「クラシック・レストラン（Classic Restaurants）」、「サマーバイブス（Summer Vibes）」、「ドレスアップ（Dress for the Occasion）」、「各行政区のおすすめ店（Best of the Boroughs）」、「隠れ家レストラン（Best Kept Secrets/Hidden Gems）」、「デートナイト（Date Night）」、「セレブシェフの店（Celebrity Chefs）」、「フーディーズ（For the Foodies）」など、多彩なコレクションも用意されています。

ホスピタリティ業界の提唱者であり、**ニューヨーク市観光会議局のカリナリー・コミッティ共同委員長を務めるトレンネス・ウッズ＝ブラック氏**は「30 年以上にわたり、『NYC レストラン・ウィーク』は、ニューヨーカーはもちろん世界中からの来訪者に、ニューヨークを“世界屈指の美食の街”たらしめているレストランやシェフたちの魅力を体験する機会を提供してきました。我がレストラン『Sylvia's（シルビアズ）』がこの長い伝統の一端を担ってきたこと、そしてこの愛されるイベントを通じて今なおソウルフードを愛する皆さまをお迎えできることを誇りに思います。私たち家族は、ハーレムの中心で皆さまをお迎えできるのを心より楽しみにしています」と語っています。

また、シェフ兼レストラン経営者でもあり、同じく**ニューヨーク市観光会議局のカリナリー・コミッティ共同委員長のデイビッド・バーク氏**は「夏は、ニューヨーク市で最もエキサイティングな季節です。なかでも、『NYC レストラン・ウィーク』の開催は特に楽しい出来事で、このプログラムは、今やニューヨーク市の食文化を語るうえで欠かせない存在となっています。1992 年のスタート以来、『NYC レストラン・ウィーク』は、地元ニューヨーカーはもちろん、世界中から訪れる旅行者に、アイコン的な名店から新進気鋭の話題店まで、この街の“食”を象徴するレストランをお得に体験する機会を提供してきました。今年の夏も、ニューヨークが誇る活気あふれる美食文化を共に祝うべく、皆さまをお迎えできるのを楽しみにしています」と語っています。

参加レストランは希望に応じて、「NYC レストラン・ウィーク」の提供期間を最大で 2 週間延長し、9 月 2 日（火）まで継続することができます。

ニューヨーク市制 400 周年を記念する「[Founded By NYC](#)」キャンペーンの一環として、「NYC レストラン・ウィーク」の歩みをたどる新たな特集コンテンツを、nyc tourism.com/the-history-of-new-york-city-restaurant-week にて公開しています。

CONTACT:

ニューヨーク市観光会議局

日本オフィス

c/o 株式会社オーダス

アカウントディレクター 伊藤 宏和

ito@audacejapan.com

Tel. (03)5615-8177

リリースに関するお問い合わせ:

nyc tourism_pr@audacejapan.com

**NEW YORK CITY
TOURISM +
CONVENTIONS**

**@NYCTOURISMNEWS
NYCTOURISM.COM**

今年の夏の「NYC レストラン・ウィーク」プログラムには、**アムトラック、ジェームズ・ピアード財団、オープンテーブル、ニューヨーク・シティ・ワイン&フード・フェスティバル**などがプロモーション・パートナーとして参画しています。

「NYC レストラン・ウィーク サマー2025」に参加する全レストランの一覧は、nyc tourism.com/restaurantweek にてご覧いただけます。

ニューヨーク市観光会議局

ニューヨーク市の 5 つの行政区（マンハッタン、ブルックリン、ブロンクス、クイーンズ、スタテンアイランド）全域の観光推進および持続可能な経済発展、地域社会の活性化、そしてイメージ向上を目的とした、ニューヨーク市の公式ツーリズム・デスティネーション・マーケティング機関です。

ニューヨーク市観光会議局に関する情報は公式 HP nyc tourism.com をご覧ください。

関連画像データ: [こちら](#)をクリックしてください。

これらのメディア資産をダウンロードすることにより、利用者は以下の条件に同意したものとみなされます。

ニューヨーク市観光会議局（New York City Tourism + Conventions）は、プレス用途に限り、その使用を許しています。提供するメディア・アセットのすべてまたは一部を報道目的以外に使用すること（これにはメディア資産の複製、配布、販売を含むが、これに限定されない）は禁止されています。また、ニューヨーク市観光会議局の許可なく、メディア資産を商業目的で使用するこや、いかなる形でリブランディングすることはできませんのでご注意ください。ニューヨーク市観光会議局はこれらのメディア・アセットに関して第三者の権利に関する許諾や権利処理について一切の保証を行いません。

クレジット表記は必須です。

CONTACT:

ニューヨーク市観光会議局

日本オフィス

c/o 株式会社オーダス

アカウントディレクター 伊藤 宏和

ito@audacejapan.com

Tel. (03)5615-8177

リリースに関するお問い合わせ:

nyctourism_pr@audacejapan.com

**NEW YORK CITY
TOURISM +
CONVENTIONS**

**@NYCTOURISMNEWS
NYCTOURISM.COM**